

## 学習の手引き

1年生

教科	観点の内容	
美術	知識 技能	<p>・形や色彩などの性質や感情にもたらず効果を理解することができ、形や色、材料などが感情にもたらず効果や、造形的な特徴をもとに、主題のイメージで捉えることを理解している。（知識）</p> <p>・主題の意図に応じて表現方法を追求し、創意的にあらわし、制作の順序などを総合的に考え、見通しをもって制作している。（技能）</p>
		<p style="text-align: center;">おもな評価の項目（予定）</p> <p>作品、用具の使い方、定期テスト ワークシートの取り組み状況 課題のスケッチ、デッサンなど</p>
	思考力 判断力 表現力	<p style="text-align: center;">観点の内容</p> <p>・感じ取ったことや考えたことなどをもとに、発想や構想を練ったり、目的や機能などを考えた発想や構想を練っている（A表現）</p> <p>・美術作品を鑑賞し、作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。（B鑑賞）</p>
		<p style="text-align: center;">おもな評価の項目（予定）</p> <p>作品、用具の使い方、定期テスト ワークシートの取り組み状況 アイデアのメモ スライドなどの発表資料や発表、話し合いの内容 など</p>
美術	主体的に学習に取り組む態度	<p style="text-align: center;">観点の内容</p> <p>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習に取り組もうとしている。（態表）</p> <p>・美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく材料を組み合わせたり、形や色であらわす表現の工夫を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。（態鑑）</p>
<p style="text-align: center;">学習の進め方のヒント</p> <p>①形や色、材料などが感情にもたらず効果を普段の生活から意識して探求しましょう。また、作品制作では、制作の手順を理解し、意図にあわせた表現ができるようにしましょう。（主に「知識・技能」）</p> <p>②発想や構想を練る際は、思考したことをワークシートやクロッキーブックに記述、あるいはスケッチとして必ず残しましょう。言葉による表現をする際には、相手に伝わりやすい文章を考え、具体的に表現しましょう。また、普段の生活から身近なデザインを意識したり作者の意図はどこにあるのか考える時間を作っていきましょう。（主に「思考・判断・表現」）</p> <p>③毎時間の授業でチェック表を記入してもらいます。また、学期の終わり頃や課題ごとに「振り返りシート」を活用します。学習したことが今後に活かせるように単元ごとの振り返りの視点を大切にしましょう。また、どうしたら主体的に学習に取り組めるのかを考え、意識して取り組めるようにしましょう。（主に「主体的に学習に取り組む態度」）</p>		